

# 緊急注意喚起情報

米づくり技術情報 No.16

令和6年8月2日

**出穂期を迎えています！圃場を確認して入水を！  
今年の夏も高温が続く見込み！  
穂揃期を過ぎたら飽水管理を徹底！**

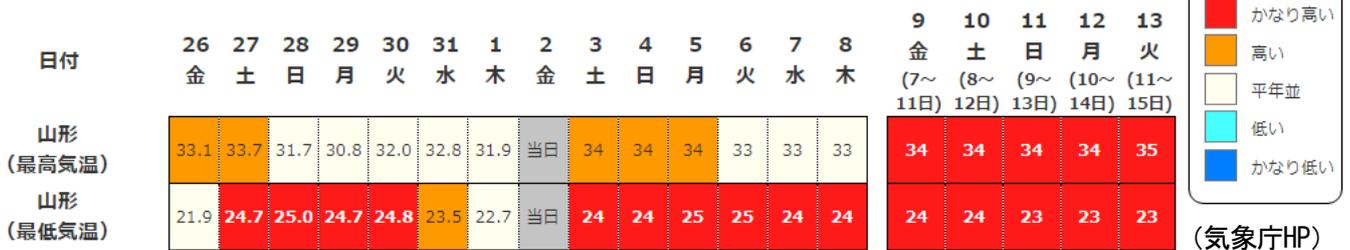
やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

## ◎ 生育状況

農業総合研究センターにおける「はえぬき」の出穂期は、山形市みのりが丘で7月30日（平年比－3日）、鶴岡市藤島町で7月30日（平年比－1日）となり、平年より早くなっています。

## ◎ 当面の技術対策

7月27日発表の1か月予報（7月29日～8月28日）では、向こう1か月の気温は高く、特に期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。また、2週間気温予報によると、今週末以降は猛烈な暑さが続く予想です。



## ◎ 当面の技術対策

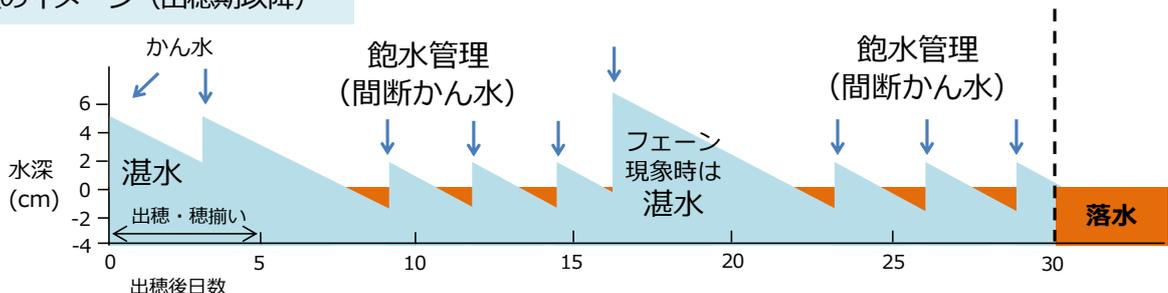
### (1) きめ細かな水管理の徹底

- ・イネは、受精・開花期に特に水分を必要とするので、出穂を確認したら、穂揃期までは、湛水状態を保ちます。
- ・穂揃後は、間断かん水や飽水管理に移行して根を健全に保ちましょう。
- ・特に、猛暑条件下では根の機能低下が懸念されるので、穂揃後は田んぼに水を張りっぱなしにせず、きめ細かに間断かん水、飽水管理を徹底して根の機能維持を図りましょう。
- ・効率的な水管理のため、作溝が十分機能するように必要に応じて手直しを行いましょう。



飽水管理の様子

### 水管理のイメージ（出穂期以降）



※ 7月25日からの大雨の影響が大きかった地域では、水路や揚水ポンプ等が損壊する被害が見られています。状況を確認しつつ、今後の用水確保について地域で話し合い、用水を有効に利用するために循環利用等の対策を講じましょう。

